

研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年7月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一

福島県立医科大学会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座
白土 修

【研究課題名】

手術を行った思春期特発性側弯症の術後矯正損失と患者立脚型アウトカム評価の関係性および影響する要因の調査

【研究期間】

2022年7月～2028年3月

【研究の意義・目的】

思春期特発性側弯症 (AIS) は日本において約 1-2% の有病率が報告されており、姿勢不良や腰背部痛のため生活の質 (QOL) が低下することが知られています。AIS の治療は、初期にはコルセットを用いた装具療法が行われます。脊柱変形の進行とともに手術療法の適応となりますが、術後に手術器具の不具合や手術した部分以外の脊柱変形が進行する合併症 (術後矯正損失) も報告されています。

会津医療センター整形外科・脊椎外科では、AIS を有する患者さんに対する手術を多く行っています。本研究の目的は、AIS を有する患者さんの術後矯正損失と手術に対する満足度や術後生活の満足度 (患者立脚型アウトカム評価) の関係性や影響する要因を調査することです。研究の結果によって、AIS を有する患者さんの手術方法の選択などに役立つ可能性があります。

【研究の対象となる方】

2013年4月～2022年5月に会津医療センター附属病院整形外科・脊椎外科で、AIS の診断がつき、手術を受けた患者さんを対象とします。

【研究の方法】

以下の試料・情報を用いて研究を行います。

上記対象者の性別、年齢、身長、体重、診断名および AIS のタイプ分類、画像所見、術式などの手術関連データ、患者立脚型アウトカム評価を調査します。患者立脚型アウトカム評価は、アンケート用紙を用いて日々の生活の満足感などを評価するもので、所要時間は約 10-15 分程度になります。以上のデータをもとに統計解析を行い各データの関係性や影響度を調査します。研究結果は、学会発表、論文発表などで公開しますが、研究対象者のプライバシーおよび個人情報は保護されます。

【研究組織】

研究責任者	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	白土 修
研究分担者	会津医療センター整形外科・脊椎外科学講座科	佐久間 洋太
	会津医療センター附属病院リハビリテーション科	佐藤 圭汰
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	波入 雄大
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	佐藤 俊樹
	福島県立医科大学大学院医学研究科 臨床疫学分野	富永 亮司
	会津医療センター 整形外科・脊椎外科学講座	岩淵 真澄

【他の機関等への試料等の提供について】

提供はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒969-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2
福島県立医科大学会津医療センター リハビリテーション科 担当 佐藤 圭汰
電話番号：0242-75-2100（電話交換室にてリハビリテーション科につながります）
FAX：0242-75-2568
E-mail:keita-s@fmu.ac.jp